

Oh! 「銀の卵」たち

**M 6 5 真庭
井手 利忠**

美作地域の現会員28人をもって「北マスターズ」と称し練習会、新年会のほか「中国混成大会」の実働部隊などの役割を果たしている。

気が置けない仲間たちが、玉置・江原両先輩をリーダーと仰ぎ、気楽気ままに「楽しもう」がモットーの集合体。

練習会は、3月から10月まで月2回を基本に、都合をやりくりして津山陸上競技場に集合、自分にあった練習から始まる。

2時間ほどガンバった練習のあとは、ご褒美の食事をしながら情報交換や練習の仕方などで盛り上がり次回を約して散会。

夏は、ナイターでの練習会、昼の暑さから解放されミッチリ充実で爽快満足。

さ〜て、新年会は、初回を湯原温泉で開き、み〜んなで露天風呂「砂湯」に入り「長寿の湯」「子宝(?)の湯」でご加護を吸収。あの雰囲気忘れられず毎年開き、今年は湯郷温泉で3回目を催行。

前回までは女性3〜5人参加だったのが怪我の人などで参加がなかったものの今回の宴、多忙中、ご来駕いただいた森野理事長が「錦上の華」。共に意気軒昂、和気藹々と献杯は深更まで和やかに続いた。

こうしたふれあいで培ったチーム力こそが、あの中国混成大会の会場準備、運営な

どにガンバル原動力となって現れたと自賛している。

「金の卵」とは言い得ずも、まさに「いぶし銀」の先輩たちが蓄えた“蘊蓄”に教わることが多く誇りたいところとなっている。

団塊世代も古希を迎え、「銀の卵」として再び社会に参画しているものの周辺はまさしく「限界集落」。

ここは「スポーツでこそ」と赤黒い血潮をたぎらせながら和合邁進。マスターズの卵を掘り出し、拾い上げて同好者を増やし諸先輩に心地よく「抱卵」されて、「レコーダー」へ「孵化」する夢をもって人生の残り火をかき立てて、熱くまっ赤な「熾火(おきび)」となって輝きたいものと思う昨今です。

